

## 多面的機能支払交付金

農山漁村振興課

# 多面的機能支払交付金

## 1 制度の概要

### (1) 目的

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、農地・農業用水等の地域資源の適切な保全管理や質的向上を図り、農業・農村の有する多面的機能を今後とも適切に維持・発揮されるようにするとともに、担い手の負担軽減による農地集積を後押しする。

### (2) 交付金の概要

平成19年度から「農地・水・環境保全向上対策」、平成24年度からは「農地・水保全管理支払」として実施された。

平成26年6月に「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立し、「多面的機能支払」、「中山間地域等直接支払」、「環境保全型農業直接支払」の3制度による「日本型直接支払制度」として平成27年4月から法律に基づき実施されている。

#### ① 支援の内容

##### (a) 農地維持支払

###### ○対象活動

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動
- ・地域資源保全管理構想の策定など地域資源の適切な保全管理のための推進活動

###### ○交付単価（10aあたり）

田：3,000円、畑：2,000円、草地：250円

##### (b) 資源向上支払（共同活動）

###### ○対象活動

- ・水路、農道、ため池の軽微な補修
- ・植栽による景観形成やビオトープづくり等の農村環境保全活動
- ・防災・減災力の強化など多面的機能の増進を図る活動

###### ○交付単価（10aあたり）

田：2,400円、畑：1,440円、草地：240円

（ただし、5年以上実施又は長寿命化対象農地は75%）

##### (c) 資源向上支払（長寿命化）

###### ○対象活動

- ・老朽化した施設の補修・更新による長寿命化活動

###### ○交付単価（10aあたり）

田：4,400円、畑：2,000円、草地：400円

#### ② 負担割合 国：50%、県：25%、市町村：25%

#### ③ 実施期間 5年間

## 2 令和2年度実績

### (1) 重点事項

農業・農村の有する多面的機能の維持や農村コミュニティの活性化を図るため、中山間地域を含め広く制度の周知を図り、地域共同による保全活動の取組拡大を推進するとともに、活動組織の事業が適切に執行できるよう、市町村等担当者会の開催を通じ、事務処理能力及びコンプライアンスの向上を図った。

### (2) 取組実績

| 項 目       | 農地維持支払  | 資源向上支払<br>(共同) | 資源向上支払<br>(長寿命化) | 計       |
|-----------|---------|----------------|------------------|---------|
| 実施市町村数    | 18      | 17             | 14               | 18      |
| 活動組織数     | 164     | 142            | 102              | 164     |
| 対象面積 (ha) | 9,456   | 9,125          | 7,515            | 9,456   |
| 交付額 (千円)  | 262,056 | 139,340        | 243,578          | 644,974 |

## 3 令和3年度の推進方針

### (1) 重点事項

農業・農村の有する多面的機能の維持や農村コミュニティの活性化を図るため、中山間地域を含め広く制度の周知を図り、地域共同による保全活動の取組拡大を推進、広域活動組織を育成する。

また、活動組織の事業執行が適切に行えるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、事務作業に関する説明会、活動に関する研修会を開催し、活動組織の事務処理能力及びコンプライアンスの向上を図る。

### (2) 取組計画

| 項 目       | 農地維持支払  | 資源向上支払<br>(共同) | 資源向上支払<br>(長寿命化) | 計       |
|-----------|---------|----------------|------------------|---------|
| 実施市町村数    | 18      | 17             | 14               | 18      |
| 活動組織数     | 165     | 143            | 103              | 165     |
| 対象面積 (ha) | 9,494   | 9,167          | 7,525            | 9,494   |
| 交付額 (千円)  | 263,208 | 140,107        | 232,251          | 635,566 |

(参考) 令和2年度市町村別取組状況

| 市町村名  | 活動<br>組織 | 農地維持支払の対象農用地面積（ha） |         |        |     | 備考 |
|-------|----------|--------------------|---------|--------|-----|----|
|       |          |                    | 田       | 畑      | 草地  |    |
| 徳島市   | 13       | 1,252.4            | 901.1   | 351.2  | 0.0 |    |
| 鳴門市   | 17       | 835.8              | 305.0   | 530.8  | 0.0 |    |
| 小松島市  | 8        | 936.3              | 908.3   | 28.0   | 0.0 | ※1 |
| 阿南市   | 39       | 2,564.6            | 2,471.7 | 92.9   | 0.0 | ※1 |
| 吉野川市  | 4        | 201.9              | 108.4   | 92.1   | 1.5 | ※2 |
| 阿波市   | 17       | 2,171.1            | 1,723.4 | 441.8  | 5.9 | ※2 |
| 美馬市   | 5        | 180.5              | 177.4   | 3.1    | 0.0 |    |
| 三好市   | 2        | 70.9               | 68.9    | 2.0    | 0.0 |    |
| 勝浦町   | 5        | 299.8              | 73.1    | 226.7  | 0.0 |    |
| 上勝町   | 6        | 45.2               | 11.1    | 34.2   | 0.0 |    |
| 佐那河内村 | —        | —                  | —       | —      | —   |    |
| 石井町   | 2        | 40.8               | 40.3    | 0.5    | 0.0 |    |
| 神山町   | 1        | 4.2                | 0.0     | 4.2    | 0.0 |    |
| 那賀町   | 7        | 59.2               | 55.9    | 3.3    | 0.0 |    |
| 牟岐町   | 10       | 129.8              | 129.8   | 0.0    | 0.0 |    |
| 美波町   | 10       | 81.2               | 76.1    | 5.1    | 0.0 |    |
| 海陽町   | 11       | 162.5              | 158.0   | 4.5    | 0.0 |    |
| 松茂町   | —        | —                  | —       | —      | —   |    |
| 北島町   | —        | —                  | —       | —      | —   |    |
| 藍住町   | —        | —                  | —       | —      | —   |    |
| 板野町   | 4        | 96.3               | 58.2    | 38.1   | 0.0 |    |
| 上板町   | —        | —                  | —       | —      | —   |    |
| つるぎ町  | 3        | 323.9              | 39.3    | 284.6  | 0.0 |    |
| 東みよし町 | —        | —                  | —       | —      | —   |    |
|       | 164      | 9456.3             | 7305.9  | 2143.1 | 7.4 | ※3 |

※1～2については、市町を跨いで活動する組織があるため、組織数は面積の広い市町とし、農用地面積は各市町別で合計している。

※3 合計はラウンドにより合わない。

多面的機能支払交付金 徳島県 中間評価報告書（案）

## 第1章 取組の推進に関する基本的考え方

近年の農村地域では、過疎化・高齢化・混住化等に伴う集落機能の低下により、農地・農業用水等の資源の保全管理が困難となっており、農業・農村が有する多面的機能の保全や集落機能の維持向上の観点から、地域主体の保全管理の取組の強化が重要となっている。

このような中、国が平成19年度から「農地・水・環境保全対策」、平成24年度からは「農地・水保全管理支払」として、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境の保全活動、農地周りの農業用排水路等施設の長寿命化活動に対し支援を行ってきた。また、平成26年度から多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型支払の3事業からなる「日本型直接支払制度」が創設され、平成27年度から法に基づく事業として実施されている。

徳島県では、農村の自然環境や景観の保全・形成等の多面的機能への県民の要請を踏まえ、「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画（令和3年3月策定）」において、農業者と地域住民等との「地域共同活動」の支援及び多面的機能の維持・発揮を掲げその具現化に向けた取組として多面的機能支払交付金を重要な施策として位置づけ、多様な主体を含む活動組織及び広域活動組織（以下「対象組織」という。）による保全活動を推進し、農村コミュニティの活性化、地域資源の長寿命化と次世代への継承を図ることとしている。

このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対し多面的機能支払交付金により支援する。

## 第2章 多面的機能支払交付金の実施状況

### 1. 3支払の実施状況

総括：多面的機能を支える共同活動を支援する農地維持支払については、対象組織数が減少傾向であるが、これは、対象組織の広域合併に伴う減少と事業期間の満了に伴い、中山間地域を中心に高齢化で事業が継続できない対象組織が存在するためである。認定農用地面積の減少幅は、対象組織数の減少幅より小さく、事業量、交付金額も同様であり、県内の農振農用地面積の約35%で本交付金制度による農地維持が図られている。

地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する資源向上支払（共同）については、約87%の対象組織が取り組んでおり、農地維持支払と同様に対象組織数は減少傾向ではあるものの、事業量、交付金額の減少幅は対象組織数の減少幅より小さく、県内の農振農用地面積の約34%をカバーしている。

農業用施設の長寿命化のための活動を支援する資源向上支払（長寿命化）については、約62%の対象組織が取り組んでおり、事業内容では、水路の補修が増加している。

#### （1）農地維持支払

|          | H30      | R1       | R2       | 備考                 |
|----------|----------|----------|----------|--------------------|
| 市町村数     | 18市町村    | 18市町村    | 18市町村    | 全市町村数：24           |
| 取組率      | 75%      | 75%      | 75%      | 市町村数÷全市町村数         |
| 対象組織数    | 183組織    | 171組織    | 164組織    |                    |
| 広域活動組織   | 19組織     | 20組織     | 20組織     |                    |
| 認定農用地面積  | 10,717ha | 10,339ha | 10,312ha | 農振農地面積(R1)29,900ha |
| カバー率     | 35.8%    | 34.6%    | 34.5%    | 認定農用地面積÷農振農用地面積    |
| 農振農用地区域外 | 64ha     | 46ha     | 72ha     |                    |
| 対象施設     |          |          |          |                    |
| 水路       | 3,178km  | 3,130km  | 3,076km  |                    |
| 道路       | 807km    | 849km    | 794km    |                    |
| ため池      | 144箇所    | 142箇所    | 144箇所    |                    |
| 交付金額     | 274百万円   | 264百万円   | 262百万円   |                    |

## (2) 資源向上支払（共同）

|          | H30             | R1      | R2       | 備考                 |
|----------|-----------------|---------|----------|--------------------|
| 市町村数     | 17市町村           | 17市町村   | 17市町村    | 全市町村数：24           |
| 取組率      | 71%             | 71%     | 71%      | 市町村数÷全市町村数         |
| 対象組織数    | 156組織           | 147組織   | 142組織    |                    |
| 広域活動組織   | 19組織            | 20組織    | 20組織     |                    |
| 認定農用地面積  | 10,358ha        | 9,986ha | 10,028ha | 農振農地面積(R1)29,900ha |
| カバー率     | 34.6%           | 33.4%   | 33.5%    | 認定農用地面積÷農振農用地面積    |
| 農振農用地区域外 | 54ha            | 46ha    | 65ha     |                    |
| 対象水路     | 3,090km         | 3,051km | 3,002km  |                    |
| 対象道路     | 763km           | 804km   | 753km    |                    |
| 対象ため池    | 140箇所           | 138箇所   | 142箇所    |                    |
| 交付金額     | 146百万円          | 140百万円  | 139百万円   |                    |
| テーマ      | 生態系保全           | 51組織    | 45組織     | 45組織               |
|          | 水質保全            | 28組織    | 24組織     | 27組織               |
|          | 景観形成<br>・生活環境保全 | 151組織   | 136組織    | 134組織              |
|          | 水田貯留<br>・地下水かん養 | 1組織     | 2組織      | 1組織                |
|          | 資源循環            | 0組織     | 1組織      | 0組織                |

## (3) 資源向上支払（長寿命化）

|          | H30     | R1      | R2      | 備考                 |
|----------|---------|---------|---------|--------------------|
| 市町村数     | 14市町村   | 14市町村   | 14市町村   | 全市町村数：24           |
| 取組率      | 58%     | 58%     | 58%     | 市町村数÷全市町村数         |
| 対象組織数    | 110組織   | 102組織   | 102組織   |                    |
| 広域活動組織   | 18組織    | 19組織    | 19組織    |                    |
| 認定農用地面積  | 7,787ha | 7,537ha | 7,515ha | 農振農地面積(R1)29,900ha |
| カバー率     | 26.0%   | 25.2%   | 25.1%   | 認定農用地面積÷農振農用地面積    |
| 農振農用地区域外 | 50ha    | 43ha    | 61ha    |                    |
| 対象水路     | 128km   | 368km   | 440km   |                    |
| 対象道路     | 24km    | 26km    | 31km    |                    |
| 対象ため池    | 43箇所    | 38箇所    | 38箇所    |                    |
| 交付金額     | 265百万円  | 272百万円  | 244百万円  |                    |

## 2. 多様な主体の参画状況（対象組織の構成員）

総括：農業者は、対象組織の減少に伴い減少傾向である。

農業者以外の参画については、団体数が対象組織の減少に伴い減少傾向にあるものの、個人の参画が増加している。

|       |           | H30     | R1      | R2      | 備考 |
|-------|-----------|---------|---------|---------|----|
| 農業者   | 個人        | 23,184人 | 22,652人 | 22,370人 |    |
|       | 農事組合法人    | 3団体     | 28団体    | 28団体    |    |
|       | 営農組合      | 2団体     | 2団体     | 1団体     |    |
|       | その他の農業者団体 | 10団体    | 36団体    | 32団体    |    |
|       | 団体数計      | 15団体    | 66団体    | 61団体    |    |
| 農業者以外 | 個人        | 3,235人  | 4,700人  | 5,097人  |    |
|       | 自治会       | 462団体   | 415団体   | 429団体   |    |
|       | 女性会       | 40団体    | 39団体    | 37団体    |    |
|       | 子供会       | 15団体    | 11団体    | 12団体    |    |
|       | 土地改良区     | 109団体   | 81団体    | 78団体    |    |
|       | JA        | 19団体    | 15団体    | 17団体    |    |
|       | 学校・PTA    | 35団体    | 28団体    | 30団体    |    |
|       | NPO       | 2団体     | 4団体     | 3団体     |    |
|       | その他       | 164団体   | 141団体   | 124団体   |    |
|       | 団体数計      | 846団体   | 734団体   | 730団体   |    |

## 第3章 多面的機能支払交付金の効果

### 1. 調査方法

- (1) 地域資源の適切な保全管理
- (2) 農業用施設の機能増進
- (3) 農村環境の保全・向上
- (4) 自然災害の防災・減災・復旧
- (5) 農村の地域コミュニティの維持・強化への貢献
- (6) 構造改革の後押し等地域農業への貢献
- (7) 都道府県独自の取組

(1) から (7) の項目について、次の報告書、評価書、アンケート調査等を元に活動組織の取組による評価を実施。

- ・令和2年度多面的機能支払交付金に係る実施状況報告書（164組織・全組織）
- ・令和2年度地域資源の適切な保全管理のための推進活動の取組状況評価書及び多面的機能の増進を図る活動の取組状況評価書（以下「自己評価及び市町村評価」という。）  
（活動開始2年目：2組織、活動開始4年目：3組織）
- ・令和2年度多面的機能支払交付金の評価にかかるアンケート調査（3組織・国の抽出による）

### 2. 効果の発現状況

#### 【評価区分】

- a. ほとんどの組織で効果が発現している、又は、発現が見込まれる  
（取組組織の8割程度以上で効果が発現している、又は、発現が見込まれる）
- b. 大半の組織で効果が発現している、又は、発現が見込まれる  
（取組組織の5割程度以上8割程度未満で効果が発現している、又は、発現が見込まれる）
- c. 一部の組織で効果が発現している、又は、発現が見込まれる  
（取組組織の2割程度以上5割程度未満で効果が発現している、又は、発現が見込まれる）
- d. 効果の発現が限定的である、又は、発現の見込みが限定的である  
（取組組織の2割程度未満で効果が発現している、又は、発現が見込まれる）

(1) 資源と環境

1) 地域資源の適切な保安全管理

遊休農地の発生防止、水路・農道等の地域資源の適切な保全、鳥獣被害の抑制・防止、非農業者の地域農業や農業用水、農業水利施設等への理解醸成、水路・農道等の地域資源を保安全管理する人材の確保等、管理体制の強化の全ての項目で、効果が発現している。

| 効果項目<br>(指 標)                                                                                                                      | 評価                       |                                     |                          |                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                                                                                                                                    | a                        | b                                   | c                        | d                        |
| 遊休農地の発生防止<br>(市町村評価：共同活動により地域資源が適切に保安全管理され、有休農地の発生を抑制 100%)<br>(活動組織アンケート Q1：本交付金に取り組んでいなければ、活動の対象農用地内に有休農地が発生または面積が拡大していたと思う 33%) | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 水路・農道等の地域資源の適切な保全<br>(自己評価：水路・農道等の地域資源の機能維持 80%)<br>(活動組織アンケート Q2：本交付金に取り組んでいなければ、農業用施設の管理が粗放化、施設の機能低下が進行していると思う 67%)              | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 鳥獣被害の抑制・防止<br>(自己評価：鳥獣被害防止等の農地利用や地域環境の改善 50%)                                                                                      | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 非農業者の地域農業や農業用水、農業水利施設等への理解醸成<br>(自己評価：施設を大切に使うという意識の向上 100%)<br>(活動組織アンケート Q3：活動を通じて、地域の農地や農業水利施設等への関心や理解、取組への協力意識が高まっていると思う 33%)  | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 水路・農道等の地域資源を保安全管理する人材の確保等、管理体制の強化<br>(自己評価：水路・農道等の地域資源を保安全管理する人材の確保 80%)<br>(市町村評価：共同活動に参加する非農業者が増えている等、地域資源の管理体制が強化 60%)          | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

2) 農業用施設の機能増進

定期的な機能診断、補修等の実施により、農業用施設の機能が維持、保全されるとともに、施設を大切に使うという意識の向上や補修技術の向上が図られており、効果が発現している。

| 効果項目<br>(指 標)                                                                                                                           | 評価                                  |                                     |                          |                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                                                                                                                                         | a                                   | b                                   | c                        | d                        |
| 施設の破損、故障や溢水等による農業生産や周辺地域への被害抑制<br>(活動組織アンケート Q6：資源向上支払（長寿命化）に取り組まなかった場合、破損、老朽化等により農業生産への影響が出ると思う 67%)                                   | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 農業用施設の知識や補修技術の向上<br>(自己評価：施設を大切に使うという意識の向上 100%)<br>(活動組織アンケート Q4：資源向上支払（共同、長寿命化）への取組により、補修技術が高まっていると思う 67%)                            | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 定期的な機能診断、補修等の実施や直営施工の導入等による施設の維持管理費の低減<br>(活動組織アンケート Q5：資源向上支払（共同、長寿命化）への取組により、定期的な機能診断、補修等の実施や直営施工を導入したこと等により、施設の維持管理費が低減されていると思う 67%) | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

### 3) 農村環境の保全・向上

農村環境の保全・向上については、約8割の組織で景観形成・生活環境保全の活動に取り組んでおり、コスモスやひまわり等の植栽に子供が参加することにより、農業や農業用施設などに関心を持ってもらう機会となっている。また、参加者の環境保全に関する関心や理解が進むことで取組への参加意識が高まっている。

| 効果項目<br>(指 標)                                                                                                                           | 評価 |   |   |   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|---|
|                                                                                                                                         | a  | b | c | d |
| 地域の環境の保全・向上<br>(自己評価：農村環境の向上 100%)                                                                                                      | ■  | □ | □ | □ |
| 地域の環境の保全・向上（景観）<br>(活動組織アンケート Q7-3-1：活動を通じて、景観形成のための植栽面積が増えたり、雑草の繁茂や不法投棄が減るなど、景観形成・生活環境保全の効果が出来たと思う 67%)                                | □  | ■ | □ | □ |
| 地域住民の地域資源や農村環境の保全への関心の向上<br>(自己評価：地域住民の農村環境保全への関心の向上 100%)<br>(活動組織アンケート Q7-3-2：活動を通じて、参加者は、景観形成・生活環境保全に対する関心や理解、取組の協力意識が高まっていると思う 67%) | ■  | □ | □ | □ |

### 4) 自然災害の防災・減災・復旧

排水路の泥上げやため池の点検・補修など、農業用施設の維持管理を行う活動が、自然災害や二次災害等による被害の抑制・防止に役立っていると考えており、効果が発現している。災害後の点検や復旧の迅速化、地域住民の防災・減災に対する意識の向上等については、幸い大きな災害の発生がなく、共同活動での防災・災害に対応する機会が少なかったことから、防災・減災に対する意識の向上、体制の強化にはつながらなかった。

| 効果項目<br>(指 標)                                                                                                                                                                                                | 評価 |   |   |   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|---|
|                                                                                                                                                                                                              | a  | b | c | d |
| 自然災害や二次災害等による被害の抑制・防止<br>(自己評価：自然災害や二次災害による被害の抑制・防止 50%)<br>(活動組織アンケート Q9：排水路の泥上げやため池の点検・補修など、多面的機能支払により施設の維持管理を行う活動が、異常気象時における被害減少や早期復旧に役立っていると思う 67%)<br>(活動組織アンケート Q10-1：水路等の施設を適正に管理することで、大雨時の水害を防止 67%) | □  | ■ | □ | □ |
| 災害後の点検や復旧の迅速化<br>(活動組織アンケート Q10-6：軽微な被害箇所を早急に復旧 33%)                                                                                                                                                         | □  | □ | ■ | □ |
| 地域住民の防災・減災に対する意識の向上、体制の強化<br>(自己評価：地域住民の防災・減災に対する意識の向上 0%)<br>(活動組織アンケート Q10-4：共同活動を通じた管理体制の整備や地域コミュニケーション力の向上により、災害時に地域でまとまって対応 33%)                                                                        | □  | □ | □ | ■ |

(2) 社会

1) 農村の地域コミュニティの維持・強化への貢献

多面的機能支払の活動が、非農業者や非農業団体が地域活動に参加するきっかけとなっており、話し合いや活動機会の増加による地域コミュニティの活性化、農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化に寄与している。

地域づくりのリーダーの育成については、効果の発現が限定的である。

| 効果項目<br>(指 標)                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 評価                       |                                     |                                     |                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                               | a                        | b                                   | c                                   | d                        |
| 話し合いや活動機会の増加による地域コミュニティの活性化<br>(自己評価：隣接集落等他の集落との連携体制の構築 20%)<br>(自己評価：地域コミュニティの維持・発展に対する意識の向上 100%)<br>(活動組織アンケート Q12：地域が目指す方向についての話し合いが始まった、あるいは盛んになった 67%)<br>(活動組織アンケート Q12：地域の行事やイベントが始まった、あるいは盛んになった 67%)<br>(活動組織アンケート Q13-4：多面的機能支払に取り組んでいなければ、地域に関わる話し合いの回数や参加者数が減るだろう 回数67%、参加者数67%) | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> |
| 各種団体や非農業者等の参画の促進<br>(自己評価：農村の将来を考える地域住民の増加 80%)<br>(活動組織アンケート Q8：農村環境保全活動は、非農業者や非農業団体が本交付金の活動やその他の地域活動に参加するきっかけとなっている 67%)<br>(活動組織アンケート Q13-2：多面的機能支払に取り組んでいなければ、活動の実施や参加者数が減る、あるいは活動を行わないだろう 農地維持 67%、資源向上(共同) 67%)                                                                         | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> |
| 地域づくりのリーダーの育成<br>(活動組織アンケート Q14-4：本交付金による取組は、地域づくりのリーダー育成に役立っている 33%)                                                                                                                                                                                                                         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化<br>(自己評価：伝統農法・文化の復活や継承を通じた農村コミュニティの強化 50%)                                                                                                                                                                                                                             | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> |

(3) 経済

1) 構造改革の後押し等地域農業への貢献

担い手農業者の育成・確保については、ある程度の効果が見られるものの、担い手農業者の負担軽減、農地の利用集積の推進、農産物の高付加価値化や6次産業の推進については、効果の発現が限定的である。

| 効果項目<br>(指 標)                                                                                                                                                                                                                                                                   | 評価                       |                                     |                                     |                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                 | a                        | b                                   | c                                   | d                                   |
| 非農業者等の共同活動への参加による担い手農業者の負担軽減<br>(自己評価：担い手農業者や法人等の負担軽減 0%)<br>(自己評価：地域内外の担い手農業者との連携体制の構築 20%)                                                                                                                                                                                    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 担い手農業者の育成・確保<br>(自己評価：地域農業の将来を考える農業者の増加 60%)<br>(自己評価：周辺農業者の営農意欲の維持、または拡大 50%)                                                                                                                                                                                                  | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/>            |
| 農地の利用集積の推進<br>(自己評価：不在村地主との連絡体制の確保 20%)<br>(市町村評価：担い手農業者への農地利用集積・集約または話し合い 40%)<br>(活動組織アンケート Q11：本交付金の取組は、農地の利用集積や集積に向けた話し合い等のきっかけになっている 33%)                                                                                                                                  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| 農産物の高付加価値化や6次産業の推進<br>(市町村評価：特産品の生産や6次産業化の取組、またはそのための検討 0%)<br>(市町村評価：環境にやさしい農業の拡大、または拡大に向けた検討 0%)<br>(活動組織アンケート Q11-3：本交付金の取組は、新たな生産品目づくり、農業経営の複合化、6次産業化などのきっかけになるなど、地域農業の発展に役立っている 0%)<br>(活動組織アンケート Q11-4：本交付金の取組は、非農業者が地域の農業や農業用水、農業用施設等に関心をもつきっかけになるなど、地域農業の発展に役立っている 67%) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |

(4) 都道府県独自の取組

徳島県独自の取組については、農業用用水路等の安全施設の適正管理や外来種（ミシシッピアカミミガメ、ナガエツルノゲイトウ等）の駆除等の活動が実施されることにより、安全性の向上や、農作物の被害の軽減をはじめ、農村環境を保全する効果も発現している。

| 都道府県独自で定めている内容                              | 評価 |
|---------------------------------------------|----|
| 水路、農道、ため池の安全施設の適正管理を行うことにより、施設の適切な保全管理が促進   | ○  |
| 水路の計画に基づいた配水操作を行うことにより、施設の適切な保全管理が促進        | ○  |
| 外来種の生物の駆除等を行うことにより、農作物被害の軽減や農業用水利施設の機能維持が促進 | ○  |

評価 ◎：かなりの効果があった、かなりの効果が現れる見込みがある  
○：ある程度効果があった、ある程度効果が現れる見込みがある  
△：あまり効果がなかった、あまり効果が現れる見込みがない  
×：全く効果がなかった

## 第4章 対象組織の自己評価に対する市町村評価

本交付金制度では、活動組織が活動を始めて2年目及び4年目に自己評価及び市町村評価を実施することとされており、ここでは、平成30年度から令和2年度にかけて実施した対象組織の自己評価及び市町村評価の実施結果を基に評価を行うこととする。

### 1. 地域資源の適切な保全のための推進活動に係る自己評価及び市町村評価

#### (1) 地域資源の適切な保全のための推進活動の進捗状況

活動組織においては、事業計画書及び活動計画書に基づき、地域資源の適切な保全のための推進活動が適切に実施されている。2年目の自己評価では、次の目標に向けてどのような課題があるか整理している組織が約40%と最も多く、課題解決や保全管理の方法を検討している組織も約30%であった。4年目の自己評価では、約60%の組織が課題解決や保全管理の方法の検討をしており、約13%の組織では、保全管理の体制強化の方針が決定や地域資源保全管理構想の作成・実践に取り組んでおり、推進活動のステップアップが図られている。

#### (2) 推進活動の自己評価に対する市町村評価

推進活動の自己評価に対する市町村評価では、優良と評価される組織が約14%、適当と評価される組織が約84%、指導又は助言、フォローが必要な組織は約2%となり、おおむね、推進活動が適切に実施されている。

### 2. 多面的機能の増進を図る活動に係る市町村評価

多面的機能の増進を図る活動に係る市町村評価では、約20%が優良、約80%が適当であると評価されており、指導または助言が必要な組織はなく、推進活動が適切に実施されている。

## 第5章 取組の推進に係る活動状況

### 1. 基本的な考え方

本交付金による取組の推進にあたっては、徳島県、市町村、農業者団体、集落等の各組織間による緊密な連携のもと実施することが必要であることから、本県では、徳島県、市町村、農業者団体等で構成する徳島県農地・水・環境保全活動推進協議会（以下「推進組織」という。）を設置し、各組織に対する支援、指導・助言を行うことで円滑な事業の推進を図っている。

## 2. 都道府県の推進活動

総括：新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動組織向けの事務手続き説明会は、資料の送付で対応するなど、例年に比べると活動に制約があったが、市町村向けの説明会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催するなど、可能な範囲で推進活動を実施した。「活動の手引き」等の資料を送付することにより、必要な情報の周知はある程度図られたと考えられる。

| 実施した推進・指導、支援内容（具体的な内容）                                                                                       | 評価 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ホームページを通じた情報の提供<br>（具体的な内容：要綱基本方針を県HPに掲載。）                                                                   | ○  |
| パンフレット、機関紙、事例集等による普及・啓発<br>（具体的な内容：事業概要、活動の手順、計画の作成、計画の実施、活動の報告、活動の解説、様式集をとりまとめた「活動の手引き」を作成し、関係市町、活動組織等へ配布。） | ○  |
| 研修会等の実施<br>（具体的な内容：市町村を対象に事業担当者説明会、事務手続き説明会を開催。対象組織に対する抽出検査の実施。）                                             | ○  |
| 優良活動表彰による普及・啓発<br>（具体的な内容：推薦組織がなかったため実施していない。）                                                               | ×  |
| イベント、メディア等を通じた広報活動<br>（具体的な内容：新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント等は実施していない。）                                             | ×  |

評価 ◎：かなりの効果があった、かなりの効果が現れる見込みがある  
○：ある程度効果があった、ある程度効果が現れる見込みがある  
△：あまり効果がなかった、あまり効果が現れる見込みがない  
×：全く効果がなかった

## 3. 市町村の推進活動

総括：新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年実施している研修会等を実施せず資料の配布のみを実施した市町村が多い。対象組織に対する個別指導等はできており、推進活動が適切に実施されている。

| 実施した推進・指導、支援内容（具体的な内容）                                                                                              | 評価 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ホームページを通じた情報の提供<br>（具体的な内容：一部市町村のHPにおいて、制度の概要や国、県のHPのリンクを掲載している。）                                                   | ○  |
| パンフレット、機関紙、事例集等による普及・啓発<br>（具体的な内容：一部の市町村でパンフレット、リーフレットを作成し、対象組織等に配布。）                                              | ○  |
| 研修会等の実施<br>（具体的な内容：事業内容等に関する説明会や軽微な補修に関する研修会等を開催。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、研修会等を実施せず説明資料等の配布のみを実施した市町村も多い。対象組織に対する個別指導の実施。） | ○  |
| 優良活動表彰による普及・啓発<br>（具体的な内容：推薦組織がなかったため実施していない。）                                                                      | ×  |
| イベント、メディア等を通じた広報活動<br>（具体的な内容：特に実施していない。）                                                                           | ×  |

評価 ◎：かなりの効果があった、かなりの効果が現れる見込みがある  
○：ある程度効果があった、ある程度効果が現れる見込みがある  
△：あまり効果がなかった、あまり効果が現れる見込みがない

×：全く効果がなかった

#### 4. 推進組織の推進活動

総括：推進組織のホームページには、活動の手引きや交付金の使途に関するガイドラインなど活動組織の参考となる資料が多数掲載されており、情報提供活動が適切に実施されている。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動が制限される中、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で個別指導等を実施しており、推進活動が適切に実施されている。

| 実施した推進・指導、支援内容（具体的な内容）                                                                                          | 評価 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ホームページを通じた情報の提供<br>（具体的な内容：活動の手引き、交付金の使途に関するガイドライン、県内の活動組織の紹介記事を作成し、推進協議会HPに掲載。）                                | ◎  |
| パンフレット、機関紙、事例集等による普及・啓発<br>（具体的な内容：活動組織向け研修会の資料を活動組織へ配布。）                                                       | ○  |
| 研修会等の実施<br>（具体的な内容：活動組織向け研修会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。対象組織に対する抽出検査の実施。活動計画の策定、活動の的確な実施、交付金の適正な執行、報告書の作成等について個別指導を実施。） | ◎  |
| 優良活動表彰による普及・啓発<br>（具体的な内容：推薦組織がなかったため実施していない。）                                                                  | ×  |
| イベント、メディア等を通じた広報活動<br>（具体的な内容：特に実施していない。）                                                                       | ×  |

評価 ◎：かなりの効果があった、かなりの効果が現れる見込みがある

○：ある程度効果があった、ある程度効果が現れる見込みがある

△：あまり効果がなかった、あまり効果が現れる見込みがない

×：全く効果がなかった

## 第6章 取組の推進に関する課題、今後の取組方向等

### 1. 取組の推進に関する課題、今後の取組方向等

令和2年度、本県の取組の全市町村におけるカバー率は75%（18／24市町村）、取組面積10,321haとなっているが、ピーク時の平成28年度は、全市町村におけるカバー率79%（19／24市町村）、取組面積10,816haであり、中山間地域を中心に、過疎化・高齢化による地域リーダーや後継者不足、事務作業の負担などから、減少傾向となっている。

今後は、広域化等の推進による事務の効率化や事務の委託による事務負担の軽減、多様な主体の参画推進による取組の拡大を推進し、活動の継続及び取組面積の維持を目指す。

### 2. 制度に対する提案等

交付事務や、市町村による交付対象農地の現地確認作業など市町村事務の負担が増加しマンパワーが不足している。活動組織においては、煩雑な事務手続きができないため、活動を継続できない組織も少なくない。

このことから、事業を効率的に実施するため、事業実施要領に基づく様式等の押印が省略されたところではあるが、事務手続きの更なる簡素化を図ることを提案する。

また、多面的機能支払交付金制度は、対象となる活動項目が増える一方で総予算額は変わらず、市町村が求める予算要求に応えられない状況である。地方が求める予算、特に資源向上支払交付金（施設の長寿命化）の確保を提案する。